



# 鶏鳴

けいめい

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

## 聖書の言葉

『賜物(カリスマ)にはいろいろありますが、それをお与えになるのは同じ霊です。』

聖書(コリント書①12章4節)

牧師 河合裕志

賜物(たまもの)をギリシャ語でカリスマと言うけれどこれは時々耳にする。カリスマ美容師とかカリスマシェフとか。これは大変に優れた腕をもった人ということで客がわんさとかけつける。

今パウロはどんなカリスマの例を上げているのだろう。1. 知恵の言葉 2. 知識の言葉 3. 信仰 4. 病気をいやす力 5. 奇跡を行う力 6. 預言する力 7. 霊を見分ける力 8. 異言を語る力 9. 異言を解釈する力 以上の九つ。1世紀の初代の教会にはこんな優れたカリスマを持つ人々がいたよう。異言というのは一種宗教的恍惚状態に入って何やら意味不明の言葉を口にする事。

ところでパウロの上げたカリスマは以上で尽きない。このあと更にこんなことを言っている。「あなたがたはもっと大きな賜物を受けるように熱心に努めなさい」。先に上げた九つはどれも素晴らしいものと思われるけれどパウロに言わせるともっと大きな賜物、カリスマがあると。それは何。

パウロは言う。「異言を語ろうとも愛がなければわたしは騒がしいドラ(打楽器の一種)、たとえ預言する賜物を持ち、あらゆる知識に通じていようとも、たとえ山を移す

ほどの完全な信仰を持っていようとも愛がなければ無に等しい」。この言いつぶりを見ると大きな賜物とは「愛」だとわかる。

そしてパウロは愛はこういうものだと続ける。一寸長いけどそのまま引用してみる。

「愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。愛は決して滅びない。

(中略) 信仰と、希望と、愛この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは、愛である」。以上の引用は「愛の章」と言われるコリント書①13章からのもの。とに角パウロは愛こそ最大、最高のものだと激賞。これこそカリスマ中のカリスマだと。これをこそ熱心に求めよと。これを与えるのは霊だと。霊とは聖霊のこと。それは復活したキリストの霊であり現に私達と一緒にいてくれるイエス・キリストのこと。イエスよ、少しでも愛に富む者としてください。人を愛せる者として下さい。それは難題ですがあなたイエスは求める者にカリスマを贈られます。

愛というカリスマを。

### 集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

求道者会：日曜日午前9時40分

中高青年会：日曜日礼拝後

お話し会、卓球：水曜日午後1時～7時

お祈り会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時